

様式第二号の十三(第八条の十七の二関係)

(第1面)

特別管理産業廃棄物処理計画書	
2022 年 6 月 23 日	
静岡県知事 川勝平太	殿
提出者	
住 所 静岡県榛原郡吉田町川尻4000番地	
氏 名 富士フイルム株式会社 吉田南事業場長 平野利美 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 0548-32-3111	
<p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。</p>	
事業場の名称	富士フイルム株式会社 吉田南事業場
事業場の所在地	静岡県榛原郡吉田町川尻4000番地
計画期間	2022年4月1日～2023年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	その他の化学工業 [1799]
② 事業の規模	製品出荷額 328億円
③ 従業員数	700名
④ 特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1の通り

(日本産業規格 A列4番)

(第2面)

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)
別紙2の通り

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

	【前年度（令和 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙3の通り	
排 出 量	別紙3の通り t	t	
①現状	(これまでに実施した取組) ・エネルギー再生利用による有価化ルートの開拓 ・資源化を推進するための分別実施		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙3の通り	
排 出 量	別紙3の通り t	t	
	(今後実施する予定の取組) 分別の徹底		

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・引火性廃油：部門別に発生した廃油を種類別に分別実施 ・廃酸・廃アルカリ：混合させないよう容器ごと分別を実施
②計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 上記を継続していく。

(第3面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

		【前年度（令和 年度）実績】	
①現状	特別管理産業廃棄物の種類	-	
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	-	t
	(これまでに実施した取組)		
	-		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	-	
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	-	t
	(今後実施する予定の取組)		
			-

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

		【前年度（令和 年度）実績】	
①現状	特別管理産業廃棄物の種類	-	
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	-	t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	-	t
	(これまでに実施した取組)		
			-
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	-	
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	-	t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	-	t
(今後実施する予定の取組)			
			-

(第4面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	-	
	自ら埋立処分を行なった特別管理産業廃棄物の量	- t	t
	(これまでに実施した取組) -		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	-	
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	- t	t
	(今後実施する予定の取組) -		

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙3の通り	
	全処理委託量	別紙3の通り t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	別紙3の通り t	t
	再生利用業者への処理委託量	別紙3の通り t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	別紙3の通り t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	別紙3の通り t	t
	(これまでに実施した取組)		

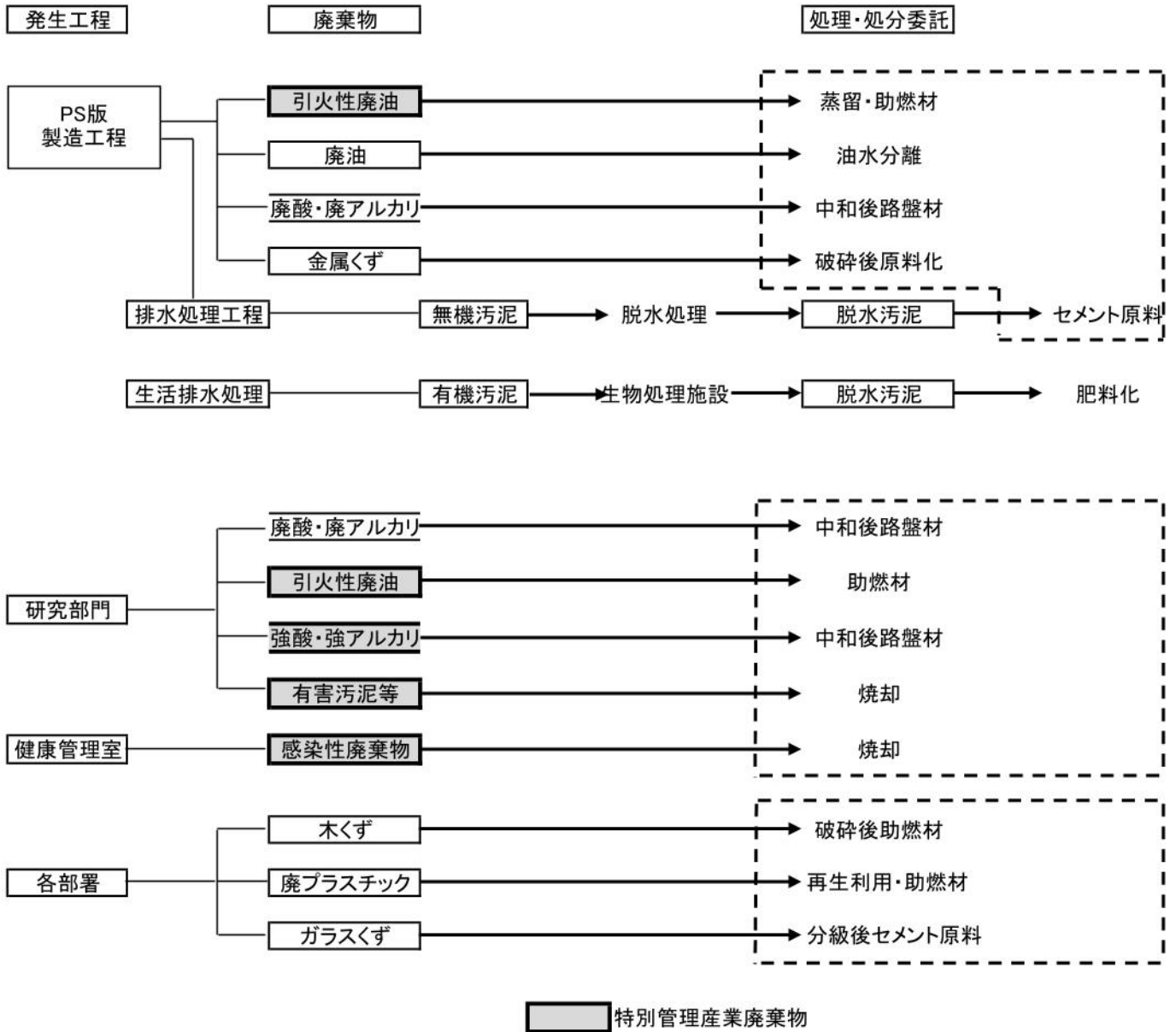
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙3の通り	
	全 処 理 委 託 量	別紙3の通り	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	別紙3の通り	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	別紙3の通り	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	別紙3の通り	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	別紙3の通り	t
	(今後実施する予定の取組) 廃薬品の排出部門による排出量削減を継続		
電子情報処理組織の使用 に関する事項	【前年度（令和 年度）実績】		
	特 別 管 理 産 業 廃 棄 物 排 出 量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)	203.146	t
	(今後実施する予定の取組等) 全マニフェスト導入済みで継続する。		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
- 6 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第6条の14第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第2条の4第5号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）を記入すること。その量が50トン以上の者にあつては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組等（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第8条の31の4に該当するときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。
- 8 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 9 ※欄は記入しないこと。

——→ 廃棄物の流れ
 - - - - 委託処理部分の範囲

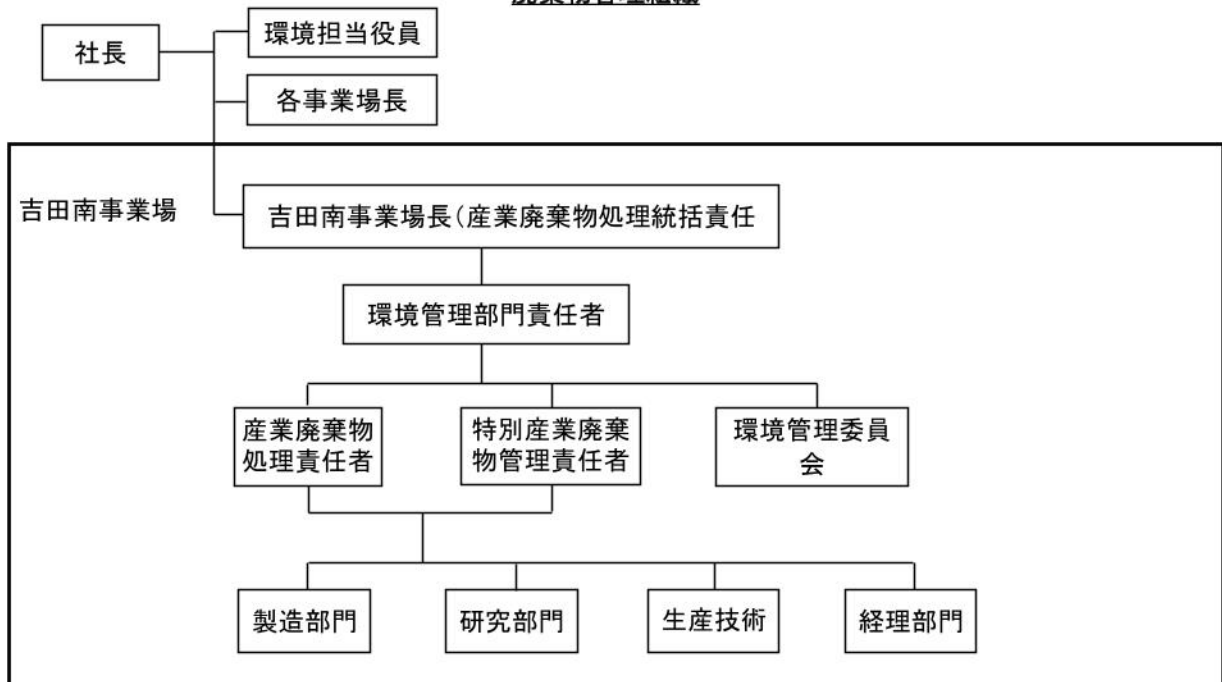


廃棄物処理フロー図

産業廃棄物処理に係わる管理体制

	統括責任者	吉田南事業場長
	廃棄物担当者	材料生産本部 事業場運営グループ 環境安全グループ吉長
役割	工場運営会議	○廃棄物処理事項に関する最終承認 議長: 吉田南事業場長 委員: 各部統括部長
	工場環境管理委員会 (IMS委員会)	○廃棄物処理に関する検討 廃棄物の発生抑制、再生利用、適正処理の推進、計画的な廃棄物の管理運営を行う上で必要な事項を審議決定して事務センター長に答申する。 委員長: 吉H長 委員: 各部門IMS委員 事務局: 環境安全グループ吉長
	廃棄物処理統括責任者	○廃棄物処理方針の策定 ○工場の廃棄物管理規程の策定・改廃 ○廃棄物処理に関する業務を統括管理
	廃棄物担当者	○廃棄物処理計画の作成 ○廃棄物管理状況の把握と改善策の検討 ○処理業者、再生利用者の調査、選定及び管理 ○委託契約の締結 ○産業廃棄物及び特別管理廃棄物管理票の交付・管理 ○監督官庁への各種報告 ○社員、関連会社に対する教育・啓発 ○その他関連する事項

廃棄物管理組織



<別紙3>

	2021年度実績(t)						2022年度計画(t)					
	排出量	全処理委託量	優良認定処理業者への処理委託量	再生利用業者への処理委託量	認定熱回収業者への処理委託量	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	排出量	全処理委託量	優良認定処理業者への処理委託量	再生利用業者への処理委託量	認定熱回収業者への処理委託量	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
引火性廃油	113.209	113.209	113.209	113.209	0	0	110	110	110	110	0	0
引火性廃油・有害	0.065	0.065	0.065	0.065	0	0	0.065	0.065	0.065	0.065	0	0
強酸	64.897	64.897	30.467	64.897	0	0	65	65	31	65	0	0
強酸・有害	0.001	0.001	0.001	0.001	0	0	0.001	0.001	0.001	0.001	0	0
強アルカリ	23.301	23.301	23.301	23.301	0	0	23.5	23.5	23.5	23.5	0	0
感染性廃棄物	0.05	0.05	0.05	0.05	0	0	0.1	0.1	0.1	0.1	0	0
廃油・有害	1.586	1.586	1.586	1.586	0	0	2	2	2	2	0	0
汚泥・有害	0.017	0.017	0.017	0.017	0	0	0.02	0.02	0.02	0.02	0	0
廃酸・有害	0.018	0.018	0.018	0.018	0	0	0.02	0.02	0.02	0.02	0	0
廃アルカリ・有害	0.002	0.002	0.002	0.002	0	0	0.01	0.01	0.01	0.01	0	0
全量	203.146	203.146	168.716	203.146	0	0	200.716	200.716	166.716	200.716	0	0